

2023年12月7日

## 路線バス（乗合バス）の上限運賃改定の認可申請について

関東鉄道株式会社（本社：茨城県土浦市、社長：松上 英一郎）では、本日（2023年12月7日）、国土交通省関東運輸局に一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃\*変更の認可申請を行いました。

申請理由および申請概要等は次のとおりです。ご利用のお客様には何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※上限運賃とは、事業の経営に必要な原価に応じて算出されるバス事業者が収受しても良いとされる運賃の上限額です。それに対し、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃を実施運賃と言います。

### 1. 申請理由

弊社は、1997年6月実施の運賃改定以来、消費税率の引き上げによるものを除き約26年間、運賃を変更することなく、輸送の安全を最優先しつつ、お客様利便の充実を図るとともに、様々な経営効率化に取り組みながら輸送サービスを提供してまいりました。この間、少子高齢化やマイカーとの競合などにより、輸送人員が減少した際も経営改善策を講じ、バス事業を維持・継続してまいりました。

しかしながら、近年では、コロナ禍以降の生活様式の変化によりさらに移動需要が低迷しているほか、今後においてもバス運転士不足を補うための人件費や燃料費などの輸送コストが上昇し続けることが見込まれ、厳しい事業環境が続くことが想定されます。このため、今後も安全・安心・快適な輸送サービスを提供し、公共交通機関としての使命を果たしていくためには、路線バスの運賃改定が必要と判断し、今般の認可申請を行ったものです。

### 2. 申請内容

- (1) 申請日 2023年12月7日（木）  
(2) 実施予定日 2024年3月中（認可後決定）  
(3) 対象路線 一般路線バス全線  
(4) 上限運賃の平均改定率 21.67%

なお、多くの区間で上限運賃より低額となるよう、平均改定率11%程度となる実施運賃を予定しております。

- (5) 現行・申請運賃比較表

		現行運賃		申請上限額*		実施運賃*（予定）	
		現金	ICカード	現金	ICカード	現金	ICカード
初乗り運賃		170円	168円	210円	210円	190円	190円
定期券 (1か月)	通勤	7,140円		8,820円		7,980円	
	通学	6,120円		7,560円		6,840円	

## (6) 主要区間の運賃

	片道運賃				通勤1か月定期券		通学1か月定期券	
	現行		改定後(予定)		現行	改定後(予定)	現行	改定後(予定)
	現金	IC	現金	IC				
水戸駅～県庁前	370円	367円	400円	400円	15,540円	16,800円	13,320円	14,400円
土浦駅～阿見坂下	310円	305円	340円	340円	13,020円	14,280円	11,160円	12,240円
土浦駅～つくばセンター	540円	535円	570円	570円	22,680円	23,940円	19,440円	20,520円
取手駅～江戸川学園	180円	178円	210円	210円	7,560円	8,820円	6,480円	7,560円
守谷駅～新守谷駅	230円	230円	260円	260円	9,660円	10,920円	8,280円	9,360円
龍ヶ崎市駅～白羽一丁目	510円	504円	540円	540円	21,420円	22,680円	18,360円	19,440円

## 3. 輸送人員および収支状況

		輸送人員	経常損益
実績年度(2021年度)		10,529千人	△304,373千円
平年度推定(2024年度)	運賃改定前	12,579千人	△515,861千円
	運賃改定後*	12,202千人	△52,686千円

※2024年度運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請上限運賃での推計値です。

## 4. これまでの経営改善と今後の取り組み

弊社では、これまでも運行ダイヤの見直しや不採算路線の再編により事業運営の適正化を図るとともに、営業所集約による管理コスト削減や車両代替期間延長による設備投資の抑制、アイドリングストップによる燃料費削減等を通じて経営改善に努めてまいりました。

今後もこれまでの施策を継続するほか、業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)化による生産性の向上などを推進し、更なる経営改善に努めてまいります。

## 5. 安全対策への取り組み

弊社では、バス事業の最大の使命である「輸送の安全」のための施策を積極的に推進しており、今後も継続してまいります。

従来から取り組んでおりますバス運転士向け安全教育やバスジャック対策訓練、災害時想定訓練などソフト面での対策を充実させます。ハード面においてもドライバー異常時対応システム(EDSS\*)搭載バスの導入など最新技術も積極的に取り入れるなど、引き続き、安全に対する投資を進めてまいります。

※EDSSとは、走行中に異常が発生した際、運転席もしくは車内の非常ブレーキスイッチを押すことで制動を開始し、速度を段階的に低下させて停止させる装置です。

## 6. サービス向上への取り組み

弊社では、高齢者向け定期券「関鉄ふれ愛パス」や通学学期定期券など割引率の高い乗車券の発売、交通系ICカードの導入やIC金額式定期券、土日祝日限定IC一日乗車券の発売など、サービスの向上に努めてまいりました。

今後もノンステップバスの更なる導入やバスロケーションシステムの導入、Ma a Sへの取り組みなど、サービス向上のための施策を積極的に行ってまいります。

## 7. 今後の社会的課題への対応

今後の社会的課題である脱炭素化や労働力不足問題を見据え、弊社では、EVバスの導入や自動運転等の新技術導入の検討を進め、社会的課題への対応に積極的に取り組んでまいります。

以 上